

No	委員からの意見・疑義	事務局からの回答
1	自家用車を運転できない方・身体の不自由な方もいるかと思います。有償ではありますが、とても良い取り組み・実施と思います。小さな離島にとって必要な事業と思いました。	津堅島において自立的で持続的な公共交通となるよう、取組みを進めてまいりたいと思います。
2	1. 収支計画書があれば、提示願いたい。 2. 福祉タクシーとしての利用は可能ですか。（車椅子での乗車できるかなども含めて） 3. 無料対象の島民等は、何を想定していますか。	1. 現段階で収支計画書は作成しておりません。自家用有償旅客運送に移行した後の利用者数を調査し、本格運行に向けて試算を行うこととなります。 2. 島民やそこを訪れる観光客等のフェリーを降りた後の二次交通を構築することを目的として実証運行を実施しています。どなたでもご利用いただけますが、車椅子での乗車はできない車両となっております。 3. 資料②の3ページに詳細を記載しておりますが、島民および親族・親戚、島内産業従事者を割引の対象としております。
3	自家用有償旅客運送を行うこととなった場合は、法令に基づいて適正に行っていただければと思います。	法令に基づき、適正に実証運行を実施してまいります。
4	津堅島において自家用有償旅客運送に取り組むということなので、今回の取組をきっかけに、津堅島の公共交通も含め、うるま市の地域公共交通計画の策定を検討してほしい。 すでに着手しているのであれば、策定に向けたスケジュールを共有していただきたい。	うるま市地域公共交通計画の策定につきましては、次年度より着手予定となっております。津堅島の公共交通につきましても計画に記載いたします。